

日本の歴史と文化

中野校

陸軍中野学校の真相

秋

資料
配付

山本 武利（早稲田大学名誉教授、一橋大学名誉教授）

曜日 木曜日

時間 15:00～16:30

全4回 ・ 10月24日 ～ 11月14日

日程 (日程詳細)

10/24, 10/31, 11/07, 11/14

コード 330217

定員 40名

単位数 1

会員価格 受講料 ¥ 11,880

ビジター価格 受講料 ¥ 13,662

目標

- ・ 忍者の歴史から中野学校出身者の近代総力戦での役割を位置づける。
- ・ 中野出身者の成功例、失敗例をエピソード、写真で解説する。
- ・ ソ連や英米軍は中野学校を戦中どの程度把握していたのか。戦後の評価。

講義概要

1937年に開校し、1945年に廃校となった日本最初のインテリジェンス将校養成機関の盛衰のポイントを解説する。秋草俊、岩畔豪雄の創設の意図を説明しながら、どんな学生が何を学んだかを知る。この秘密機関を日本人がどの程度知っていたのか。中国大陸、満州での卒業生の活動を見ながら、インテリジェンスの役割を見る。そして敗戦、抑留での苦難を知る。7年間の2300人の卒業生の足跡を

振り返り、日本人はスパイ活動に適する民族かどうかを、ソ連と対比しながら考察する。

各回の講義予定

回 日程

講座内容

- 1 10/24 中世に生まれた忍者の伝統が中野学校教育にどう生かされたか。
- 2 10/31 創設者はどのような理念で教育したのか。
- 3 11/07 中国、満州での卒業生は中野の秘密を守って行動できたのか。
- 4 11/14 捕虜、抑留者となった卒業生の足跡から見る中野学校の功罪。

テキスト・参考図書

テキスト

『陸軍中野学校』（筑摩書房）（ISBN:978-4480016584）

講師紹介

山本 武利

早稲田大学名誉教授、一橋大学名誉教授

1940年愛媛県生まれ、一橋大学博士。NPO 法人インテリジェンス研究所
理事長、早稲田大学名誉教授・一橋大学名誉教授、専門は情報史。『陸軍
中野学校』などの著書多数あり。

•